

水産情報技術(2単位)

必修

1学年

授業の概要	(内容) 中学で学んだワープロや表計算などの基礎技術を復習し、新たな技術習得を目指す。また、同時にキータッチソフト等を使い更なる技術向上を図る。	到達目標	パソコンの仕組みやインターネット上のマナーについて理解を深め、パソコンの基本的な機能を使いこなせるようになりましょう。
	(形態) 講義・実習		11月と2月の文書処理(ワープロ)検定に向け、キータッチや文書作成技能の向上を目指します。 2年次に受験するP検(パソコン検定)を目指し、技術向上に努めましょう。
年間の業計画		項 目	内 容
	一学期	4 パソコンの基礎知識 5 6 ワープロの基礎知識 7 情報の検索 情報の収集	・情報処理の概念やインターネットマナーを理解しましょう。 ・キータッチ速度の向上を目指します。 ・文書処理ソフトの操作技術向上を目指します。
	二学期	9 情報の活用 10 文書処理検定対策 11 12 表計算の基礎知識	・画像などを文書処理ソフトでどのように活用するかを学びます。 ・検定対策として、速度や文書の作成に重点をおきます。 ・基礎的な関数を使用できるようになりましょう。
三学期	1 文書処理検定対策 2 パソコンのトラブル対処法 3	・パソコン操作、ワープロ、表計算についてはパソコン検定4級B(ベーシック)に合格できるようになりましょう。 ・簡単なトラブルは自分で解決出来るようになりましょう。	
学習方法	<p>1 ホームルーム教室での講義では、情報処理を行うために理解しておかねばならない大切な事柄が説明されます。先生の説明を良く聴き、しっかりとノートを作りましょう。</p> <p>2 パソコン教室内のコンピュータや机・椅子などを大切に扱いましょう。とても高価な機械であるばかりでなく、全校生徒が使用するものです。一人の不注意でみんなに迷惑をかけることがないようにしましょう。</p> <p>3 実習では、まず先生の説明とお手本画面が表示されます、自分勝手に操作せず、基本操作を1つずつ覚えていくことが大切です。</p>		
評方法	ペーパーテスト60%		平常点40%
	(中間テスト+期末テスト)÷2 が各学期のテスト点となります。		・授業に取り組む姿勢や、勉強へのやる気を評価します。 ・文書処理検定なども評価の対象となります。
	・授業中の説明を理解できているか。 ・説明から考えられる事項について、発展的な考察と判断ができるか。		・きちんとした服装ができているか。 ・礼儀正しい態度と言葉づかいができるか。 ・検定試験の結果。
教材	教科書 『水産情報技術』(海文堂) 副教材 『パソコン検定4級テキスト』(旺文社)	アドバイス	これからの情報化社会では、パソコンを使いこなすことが必要になります。基本的な技術をしっかりと身につけ、検定試験という目標をしっかりと持てば、必ず力はつきます。